

# かさかけ 公民館だより

編集  
笠懸公民館報編集協力員会  
みどり市笠懸公民館  
発行  
みどり市笠懸公民館

〒379-2311  
みどり市笠懸町阿左美1581-1  
電話：0277-76-2211  
FAX：0277-76-2836  
Eメール：kouminkan  
@city.midori.gunma.jp

## 4月からWi-Fiが利用可能に 休館中に環境を整える

笠懸公民館は、新型コロナウイルスの影響で令和2年12月19日から令和3年3月8日まで休館となっていました。休館していた間にも、公民館機能を充実させ、開館後に住民の皆さんがより快適に、感染症対策を行うためにどうしたらよいか、模索をしながら、施設整備を進め、実行してきました。

その中で大きな変更点を3つ紹介します。



▲ スマートフォンでWi-Fiに接続

### ① Wi-Fi機器の設置

これまで笠懸公民館にはインターネットを活用できる環境がありませんでした。コロナ禍においては、オンラインを活用したサービスが急速に広まりました。公民館でもオンラインを利用した活動を取り入れ、利用者の利便性が向上することが期待されます。

令和3年4月1日から利用が可能ですが、また、皆さんが快適にオンライン環境を利用できるように、一定のルールもありますので、ご理解とご協力をよろしくお願ひします。

Wi-Fi設置の概要は次のとおりです。

#### ▼目的

公民館活動や学習のための利用及び災害時の通信手段の確保

#### ▼利用可能な時間

公民館の開館時間（ただし、公民館を災害時の避難

所として使用する場合は除く）

#### ▼主な禁止事項

- ・第三者の財産に損害を与える行為または恐れのある行為
- ・第三者の名誉、プライバシー等を侵害する行為または恐れのある行為
- ・勧誘販売等の営利を目的とした行為
- ・宗教または政治に関する行為
- ・公序良俗に反するウェブサイトを閲覧する行為
- ・ゲーム等の娯楽目的での長時間の利用など施設利用の妨げになる行為

#### ②各部屋へ網戸を設置

今まで笠懸公民館の多くの部屋には網戸がなく、部屋の換気を行う際に、虫が侵入してくるなど、快適な部屋の利用を妨げることもありましたが、そのようなことを防ぎ、感染症対策をしながら

ら快適に部屋を使っていたできるようになりました。なお、一部の部屋の網戸を除き、可動式では無いため、ご利用の際は、取り扱いにご注意ください。

#### ③掲示板の設置

この掲示板は交流ホールの入り口横に設置され、主に、サークルや団体から、会員や公民館利用者向けに情報を発信するために設置しました。発表会などのお知らせや、休会を会員に知らせるなどの活用が期待されます。スペースに限りがあるため、利用を希望する団体・サークルは、公民館職員へご相談ください。

また、正面入り口やロビーのレイアウトを変更し、笠懸公民館に来館する方により効率よく情報を届けられるようにしました。



# 令和2年度事業のまとめ

令和2年度も早いもので年度末を迎えました。令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で、多くの事業を中止や延期と判断せざるを得ませんでした。コロナ禍の中で、実施することができた笠懸公民館事業の様子を、参加者の声も交えながらまとめました。

令和3年度は、新型コロナウイルス対策を実施しながら、事業を進めていけるように準備していますので、今後ともご理解とご協力をよろしく願います。

## ▼中止となった主な事業

笠懸地域文化祭、こどもまつり、市民講座、高齢者大学、公民館大会、青少年教室、学び支援事業など

## お母さんと一緒教室

### 元気いっぱい笑顔

笠懸公民館主催の家庭教育育学級事業「お母さんと一緒教室」は、年間を通して同年代の子どもをもつ親同士の情報交換や仲間づくり、講師の支援による集団遊びなど、季節の行事やさまざまなイベントを体験する教室です。

今年度は新型コロナウイルスの影響で、学級生が少人数であったこともあり、

教室を開くことができませんでした。

その様子を写真で振り返るとともに、令和2年度の参加者2人のお母さんと講師根岸恵美子先生からの感想を紹介します。

#### ●参加者Kさん

2歳と1歳の2人の娘と参加させていただきました。毎回、根岸先生が子どもたちに合わせていろいろな働



▲親子でお面づくり

きかけをしてくださり、親子共にお母さんと一緒教室へ出かけることが楽しかったです。今月から娘たちは保育園へ通い始めましたが、ここでの経験があったので集団へすっと入れたように思います。

#### ●参加者Oさん

今回教室に参加して、子どもの成長がみられたことが良かったです。人見知りや馴染めるか不安でしたが、お友達と楽しく遊べるようになりました。最初はできなかったお返事もできるようになりました。短い時間ではありましたが息子にとって良い刺激になりました。



▲運動会 でかばん競争

#### ●根岸恵美子先生

今年度は新型コロナウイルスの影響で毎回行う予定が時々、変更となりました。せっかく教室にも慣れて笑顔も出てお友達と仲良く遊べるようになったのに長く続いたお休み。私も子ども達に会えないことが残念でした。そして、教室が再開できた時には、子どもたちが元気いっぱい笑顔で来てくれました。また会えた喜びと一年を通しての成長が一人ひとり思い出されました。そしてまた、私自身も子ども達から元気をもらって頑張れたと思います。子どもたちの笑顔が一番！



▲まずは親子で練習♪

## はじめてのポッチャ教室

ずっと守ってやりたいですね。令和3年度もお母さんと一緒教室は開催される予定です。詳細については3面下部の案内をご参考ください。

令和2年10月24日(土)に「はじめてのポッチャ教室」が笠懸公民館の交流ホールで開催され、親子5組10人が、ポッチャを体験しました。

# 公民館だよりの発行 全国コンクール銀賞

公民館だよりの発行は、

新型コロナウイルスの影響で、やむなく休刊とした月もありましたが、イベントが相次いで中止となる中、館報編集協力員同士でアイデアを出し合い、発行しました。

第8回全国館報コンクールでは銀賞を受賞することができました。わかりやすい見出しや写真を複数枚入れ、メリハリを付けていること、投稿やコラムが充実していることが評価されました。

令和2年度から館報編集



協力員として活動に加わった粕山巖史さんは「今年度から、編集協力員として防災の記事を担当しています。人が足りないので手伝ってと言われ、編集会議に見学に行ったら本当に人が少ないことに驚き、そのままメンバーに加えられ、あれこれ考える暇もなく今日に至ります。

## 防災を考える⑤

### 「東日本大震災」

令和3年3月である東日本大震災から10年。この10年の間にもたくさんの方々の災害が起きました。そのたびに過去の教訓を未来に生かさなければいけないながらも忘れがちな私たち。特に群馬県は、今まで大きな災害がない安全な地域と思われがちですが、群馬の歴史をさかのぼると約1200年前(平安時代)にM7.5以上の地震(弘仁地震)があったとされています。そこから

人に会って話を聞くのは好きですが、それを文字起こし文章にするのは大の苦手。とにかく事実をわかりやすく書くことに集中して無理せず続けていければと思います」と話していました。

笠懸公民館では、引き続き館報編集協力員の募集を行っています。興味、関心がありましたら、笠懸公民館までご連絡ください。

大きな地震が起きていないのならば、次は大きな地震が来ると考えるのが防災です。過去の歴史や教訓を検証し、生死を分けた要因を探ることは大切です。大災害の可能性を想定して、まちをつくり、人を育てることが重要ではないでしょうか。10年の節目を迎える東日本大震災を機会に、明日は我が身と自分のこととして考え、失われた物や自然、人を悼みつつ残された命を大切に思い、備えてみてはどうでしょうか。

## お母さんと一緒教室 学級生募集!!

笠懸公民館では、子育てに励むパパママを応援しています。子どもと2人きりで過ごすことの多い方、子育てに関して不安や悩みを抱える方、公民館で楽しく活動しながら地域で仲間づくりをしませんか。



- ◇実施期間 令和3年7月～翌年3月 (月2回・全16回)
- ◇時間 午前10時～正午
- ◇対象者 親子で継続的に参加できる方  
・親：市内に在住または在勤  
・子：令和3年4月1日現在で1歳6ヶ月～3歳 (平成29年4月2日～令和元年10月1日生)
- ◇内容 季節の行事や集団遊びを通じた情報交換や交流
- ◇申込方法 笠懸公民館窓口または電話、メールのいずれかにて申し込み
- ◇申込期間 令和3年4月15日(木)～5月15日(土)まで
- ◇その他 具体的な内容は開講前に講師と学級生の話し合いで決めます。参加費は無料ですが、活動内容によって食材費等実費負担があります。

|         |                                                                                                                                                          |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 曜日      | 隔週 金曜日                                                                                                                                                   |
| 会場      | 笠懸公民館 (みどり市笠懸町阿左美1581-1) ほか                                                                                                                              |
| 定員      | 親子15組 (先着順)                                                                                                                                              |
| 申込方法    | 窓口または電話、電子メールのいずれか<br>～電子メールの場合～<br>件名に「お母さんと一緒教室参加希望」と明記してください。<br>①住所 ②氏名・ふりがな(親・子ども)<br>③電話番号 ④子どもの生年月日<br>⑤子どもの性別<br>※5月21日(金)までに返信がない場合はお問い合わせください。 |
| 申込み問合せ先 | 笠懸公民館メールアドレス<br>kouminkan@city.midori.gunma.jp<br>笠懸公民館<br>みどり市笠懸町阿左美1581-1<br>TEL 0277-76-2211                                                          |



みどり市文化フェスティバル

# 笠懸地域文化祭 参加者募集!!



日 程 令和3年10月16日(土) ~ 10月17日(日)

会 場 展 示 部 門：笠懸公民館  
イベント部門：笠懸公民館および屋外周辺  
ステージ部門：笠懸野文化ホール



参加資格 主に笠懸地域で活動している団体及び個人であり、実行委員会に実行委員を選出し、文化祭の運営に協力できること。  
※実行委員は全3回の実行委員会に出席してください(要望)

申込方法 下部申込書に必要事項を記入して、笠懸公民館へ提出してください。

**申込期間：4月1日(木)から6月1日(火)まで**

※メールでのご連絡をするため、メールアドレスも忘れずに記入してください。

※複数部門に参加する場合は、部門ごとに参加申込書を提出してください。

そ の 他 新型コロナウイルス感染症の状況により、開催方法の変更または中止となる可能性があります。開催方法については、実行委員会で随時検討します。

問合せ先 笠懸公民館 みどり市笠懸町阿左美1581-1  
電話 76-2211 FAX 76-2836  
メール kouminkan@city.midori.gunma.jp



令和元年度の様子

# 共生社会を楽しくPR マスコミキャラクターと共に

SDGs・共生社会の推進を目的とした「第1回みどりモスとポッチャで遊ぼう」の様子が、令和3年3月20日(土)から、オンライン動画サイトYouTube

のみどり市公式チャンネル「みどり市広報」で、配信が開始されました。

共生社会とは、性別、年齢、障がいの有無などに関わらず、お互いを理解し、支え合い、誰もが生き生きとした生活を送れる社会のことです。



▲ 忠治くんとみどモスが勝負

この企画は、障がいの有無、老若男女問わずに楽しめるスポーツであるポッチャを通じ、共生社会の実現を推進するものでした。

この企画の実行委員長の富所哲平さんは「共生社会という大きなビジョンを進めるに当たって、ポッチャという手段を使うのは面白いし、目指す意義がある。コロナ禍で一般の皆さんが行うのは難しいので、それぞれ個性が豊かなマスコミキャラクターの協力を得て、明るく楽しいPRができた」と話していました。

また、今後の展望として「SDGsの17のゴールと掛け、17体のマスコミキャラクター達と一緒にSDGsを知ってもらおう機会を作りたい」とも話していました。

●SDGsとは  
持続可能な開発目標

(Sustainable Development Goals)の略称。2015年に国連で採択された世界共通の目標であり、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある世界を目指している。17のゴールなどで構成されており、対象期間は、2016年から2030年までの15年間となっている。



公開された動画のQRコード

## 思いやる心を大切に

### みどり市人権展

みどり市内の子どもたちは、人権について学び、考え、その成果を作品にしています。これらの作品を展示した「みどり市人権展」が2月17日(水)から24日(水)まで笠懸図書館、大間々図書館、東公民館図書室の市内3カ所で開催されました。取材で訪れた笠懸図書館には、人権教育に関する笠

懸町地域の幼稚園の活動の様子や小中学校の生徒の作品が展示されていました。ポスターや標語の作品には、「思いやり」や「個性を大切に」など、他人を思い大切にする、素直な気持ちが表現されていました。コロナ禍で、新しい生活様式へ変わっても、人を思いやることや、お互いを理

解することは、これからも変わらず、大切にしていきたいですね。



▲ 親子で作品鑑賞

## みどり市立電子図書館が開館しました!

### ▶ 電子図書館とは?

スマートフォンなどから電子化された書籍が閲覧できるもの



### 電子図書館の特徴

- ・時間、天候、感染症も心配いらず
- ・うっかり返却忘れ防止
- ・読書困難な人をサポート

図書館利用券が必要です。利用方法は図書館へ問い合わせください。

笠懸図書館 TEL77-1010



電子図書館QRコード

# 地域からのたより

## 二区地区公民館清掃

笠懸町第二区では、2月28日(日)に地区公民館の清掃を行いました。

今年度はほとんどの行事が中止になり、公民館もほとんど使用されていませんが、参加者は皆、マスクを着用して集まり、ソーシャルディスタンスにも注意し

ながら、コロナ禍での清掃を行いました。午前の部、午後の部と時間を分け、各団体、利用サークルごとに清掃場所も分けて密にならないような工夫をして行いました。

時折「ほら、密にならないで」とか「大きな声出しちゃだめ」なんて声も聞こえてきましたが、久しぶりに会う住民同士が和やかな雰囲気です。今年度最後の行事

## 発信続けて20年 二区広報委員会

みどり市笠懸地区には10の行政区があり、地区ごとに地区公民館(分館とも言われています)があり活動しています。その地区公民館活動で区民向けの広報紙を発行している二区の広報委員会の活動を紹介します。

20年前、区民の有志5人で広報委員会を立ち上げ発行し、区から区民へのお知らせや区の活動状況をつぶさに取材し、区民の情報共有化を図り、安心安全な住みよい地域づくりを目的としています。

20年間にわたって編集長を務めてきた若林正巳さんが、これまでのご苦労を伺いました。

「編集会議では、各号とも何をメインテーマにするか議論し、各担当を決め、取材をします。これは発行日の1か月前から取り組み、持ち寄った原稿を編集委員全員で校正し割り付け作業に入ります。1号から63号まではB4サイズの二面刷り、64号からA4サイズの六面刷りで現在に至っています。



▲ 倉庫の中も整理整頓

を終えることができました。きれいな公民館で新年度を迎えられるそうですね。

## コラム 豆電球



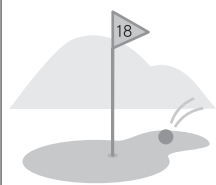
### ゴルフの1ラウンドが18ホールになつたのはなぜ?

世界初のゴルフクラブ「セントアンドリュース・クラブ」の会議で、ゴルフ1ラウンドは18ホールと決められた。1858年のことで、日本ではまだ江戸時代の頃の話である。

この会議では、ゴルフのホール数をいくつにするか、えんえんと議論が続いたという。さまざま意見が出て、なかなか結論に達しないなか、ある長老会員が発言した。「私は1ホール行くたびに、ウイスキーをグラス

1杯ずつ飲むことにしている。グラス1杯のウイスキーを18杯飲むと、ちょうどボトルが空になる。したがって、1ラウンドは18ホールがちょうどいい」この意見に、クラブのメンバーたちは押し切られて、以来1ラウンドは18ホールとなったのである。

なんとも冗談のような話であるが、全英オープンゴルフの公式ウイスキーなどもあるようだから、その国において愛される酒があるものである。



課題は、区のメイン行事が運動会、敬老会、夏祭り、子ども会育成会等で毎年同じような行事なので、取材担当を変え、記事のマンネリ化に陥らないよう工夫しています。難しいですが、また、編集委員の高齢化が進み、後継者の育成が急務だと思えます。書くことは大変ですが読者からの励ましの声をいただくと、大きな喜びです」と話し、「コロナ禍の影響で区の行事はほとんど中止となり75号の発行が遅れているとのことでした。

### ウェブでも発信 三区広報委員会

三区の広報紙『さんくす』は、笠懸町第三区の有志により平成25年12月に第三区広報委員会を設立し、平成26年5月に地域密着型広報紙として創刊号を発行、現在まで第28号を発行しています。広報委員会の活動について武井章委員長に話を伺いました。

「編集会議は1回の対面会議だけで、編集や校正はオンラインで合理化を図り、編集員の負担を軽減していますが、人材が足りてない

状況で編集委員の募集は常に行っています。また、記事のマンネリ化を防ぐため、担当を変え視点を考える工夫をしていて、今後は新企画やシリーズものにも取り組んで行く予定です。近年では住宅やアパートなども増え、新規住民の方たちへ地域の魅力を知ってもらうため、昔からの地元住民が当たり前と思うような情報も記事にしています。

情報密度を濃くするため、年4回の定期的発行を確保、第6号からは紙面をカラー印刷にして写真を掲載しています。そんな見やすさ読みやすさを追求しているの

が認められ、地元新聞に活動が掲載されました。

さらに、若年層から幅広い年代に活用できるようにパソコンやスマートフォンで閲覧できるWeb版もあり、画像で地域の新しい発見や魅力などをより多彩に紹介、将来的には投稿や動画コーナーなど、地域住民からの情報提供と相互交流できるように準備しています」と話していました。

行政区内の狭い範囲ではありませんが、広い視野で地元の話題を地元の人たちへ届ける使命感と「ありがとう」という『さんくす』の感謝の気持ち忘れず、年

## 笠懸短歌サークル

一月紙上例会より

行く年も来る年も又試さるる生ある内は日々挑みつつ

密を避けていっしょに楽しめるりモート飲み会究極の知恵

空つ風吹きしまく中ブロッコリー穫らねばならぬ安値続きの

「これやこの」我が読み手の百人一首手をさまよはせ息と孫競ふ

「序の舞」の名取裕子の熱演に「上村松園」より深く知る

年明けの暇かこちある昼下がり曾孫訪ひきて吾が抱けば泣く

吾が時も泣きってくるるや母方のぢいぢの柩に花入るる孫



上村 征子

上山 利夫

橋内 文夫

久保田茂子

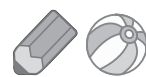
近藤ふさ子

関口 定夫

平山 勇



## 笠懸公民館を使ってみましょう!



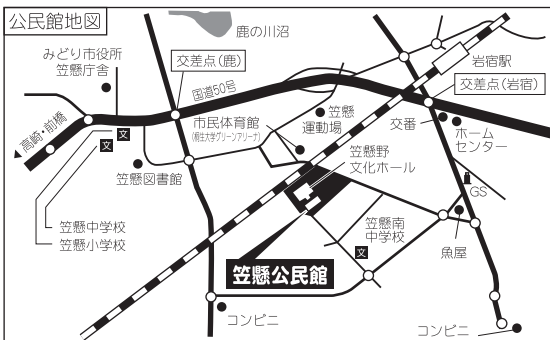
公民館には、サークル活動室や和室、交流ホール、ギャラリー、こどものお部屋、音楽室などいろいろな部屋があります。これらの部屋は、団体・サークル活動(原則7割以上の方が市内在住・在勤・在学の団体・サークル)はもちろん、個人の学習活動にも無料で利用できます。サークル活動や会議、学習会、学習成果の発表やイベントなど、活動や目的に合わせて自由に使えます。また、交流・くつろぎの場として交流ロビーや喫茶コーナーもあります。

部屋を利用するには予約が必要です。利用希望日の前月から予約できますので、受付時間内に来館のうえ予約してください。(個人の利用は、利用日の3日前から)部屋の空き状況を確認した後(空き状況の確認は電話でもできます)、申込用紙に必要事項を書き込むだけで予約できます。(毎年度はじめての利用の場合は利用調査表を提出していただきます。)

ただし、営利・政党・宗教活動を目的とする利用などは、会場や備品を提供できない場合もありますので、職員にご相談ください。

詳しくは、笠懸公民館までお問い合わせください。

|        |                       |            |
|--------|-----------------------|------------|
| 《受付時間》 | 火曜～金曜                 | 9:00～20:00 |
|        | 土・日曜・祝祭日              | 9:00～17:00 |
| 《開館時間》 | 火曜～土曜                 | 9:00～22:00 |
|        | 日曜・祝祭日                | 9:00～17:00 |
| 《休館日》  | 毎週月曜日・年末年始(12/28～1/4) |            |
|        | 臨時休館                  |            |



みどり市笠懸町阿左美1581-1 TEL 76-2211

4回の発行を守りながら、今の目標は10年継続を目指しています。ぜひとも、興味のある方は取材に参加し

て、あなたの視点から地域の魅力を広げてください。



さんくすweb版

みどり市  
スケッチ  
vol.4

「高津戸峡」 萩 芳岳

日本100名山のひとつ  
皇海山(標高2144m)  
に源を発する渡良瀬川。そ  
の麓の銅山で栄えた足尾の  
街を抜け、大間々扇状地に  
差しかかり狭まる場所に  
高津戸峡があります。古く  
からこの地は景勝地として  
知られ、その風光明媚な溪  
谷は近隣の人々の癒しの一  
つとなっていたようです。  
近くにながめ余興場や神明



▲ 高津戸橋から見る高津戸峡

宮(由緒によれば、1347年、黒川郷の一社として祀られる)があり、また、渡良瀬川に架かるはねたき橋(3代目、平成6年3月竣工)の袂に道了尊(昭和22年のカスリーン台風で流される)が、2003(平成15)年、光栄寺開山400年を記念して、この地に移転勧請されたようです。はねたき橋から川の流れに沿って下流の高津戸橋まで遊歩道があり、新緑や紅葉時には清流と相まって美しい光景を見せてくれます。ポットホールとかゴリラ岩スケルトン岩等、親しみのある岩を探すのも一興です。左岸には要害山(標高270m)があり、高津戸橋から比高約90mなので散策することをお勧めします。里見兄弟の悲話の舞台となつた高津戸城。腰曲輪跡、武者走り等が散見され山城ファン向き。地元での自然を活かした里山づくりを進め、次の時代につなげていくという活動は素晴らしいですね。

四季の会 一月句会

気合入れ引くこと出来ぬ春の風邪  
寒玉子娘に供へ朝の膳  
たそがれや寒中の空澄み渡る  
「一本」を取らるる弟子や寒稽古  
盛り上げし土のぬくもり福寿草  
笹鳴きの声にゆるめし朝散歩  
放し飼ひの地玉子を買ふ春隣  
春浅し長き勤めの介護職  
あと一話見られぬビデオ冬館  
飼猫のしぐさるとしひ冬日和  
孫からのデコポンと文の初荷待つ  
海神のやどりし浜や野水仙  
紅白の繭玉飾る保育園  
ひなたぼこ衣と吾を乾しにけり  
授かりし三人の子と初スキー  
寒玉子はんぺん入れて厚焼す  
百六歳おまけの人生淑気みつ  
初夢や妣は今でも生きている  
飼猫にちよつかいを出す嫁が君  
春浅し床屋帰りの犬を連れ  
四人姉妹妣の話や日向ぼこ  
二分咲きの梅に囲まるダム村  
百年前の袖を解く寒の夜  
オンザロック氷柱を割りて呑む車内  
お化粧の顔半分にマスクせし  
七草の三種を摘んで帰り道  
ちゃんちゃんこ未だ放せぬ日和かな  
ごまかせぬ楷書のはねや初硯  
寒椿表札がはりの山の寺  
山裾の芹摘む妻と里帰り  
練切の生菓子さぐ初茶会  
点滴の早く終われよ冬の月  
白檀の香りし小間の初稽古

- |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |        |       |       |        |       |       |       |       |       |       |      |      |       |       |       |       |       |        |      |       |       |      |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|------|-------|-------|------|
| 糸井 佳酔 | 高野 光詢 | 家住 紫香 | 窪田 劍邦 | 中谷 邦女 | 小林 狐一 | 前原 紫蘭 | 窪田 友美 | 佐藤 小春 | 東宮 春水 | 小林 華笑 | 多田 冬薔薇 | 糸井 初音 | 徳田 夕子 | 小此木 和音 | 金井 光順 | 須田 仙寿 | 新羅 光海 | 糸井 梅光 | 村田 紅蘭 | 金井 漢江 | 童 鳥海 | 横倉 雅 | 韓 百合紅 | 新羅 光海 | 村田 小町 | 吉田 和義 | 金井 英磨 | 宇野 由希子 | 冠 二郎 | 石原 青蓮 | 宇野 勘大 | 金 光月 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|------|-------|-------|------|



ちよつと一息

「絵本」ってすごいと思う。子どもにはもちろん、大人も癒され、感じることがいっぱいある。絵本だから短くてすぐ読める。心に残る絵本として、一つはちよつと長めだけれど『木を植えた男』荒野の山に何十年と黙々と木を植え続け森を蘇らせた男の話。読み終わった後、心がじわじわとあたたかくなった。もう一つは『大きな木』大きなりんごの木と少年の成長を描いている。大きな木が与える無償の愛と変わっていく少年の話。立場はどちらでも自分を投影しているよう。切ない気持ちと自分はどうなのか考えさせられる。ふとした時に読みたくなる。心の栄養剤のようだ。昔、自分の子どもたちに幼稚園で配られた「ごどものとも」や「ちいさなかくのとも」を今読むと面白いし勉強になる。「いやあ絵本って本当にいいもんですね」うふふ

(美)

